令和６年度　日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

２０２４-００６

プロジェクト名　葛飾絵本プロジェクト

プロジェクトの概要

葛飾区の魅力を伝える絵本をつくり、その絵本をきっかけとして、葛飾区を訪れる人を増やすことで、葛飾をより元気なまちにすることが、私たちのプロジェクトの目的である。そのため、単純に絵本を製作するだけでなく、完成した絵本を葛飾区の様々な公共施設や文理学部のキャンパス、豊田市などで配布するために葛飾区及び豊田市と協力することも重要な使命である。そして、可能であれば、葛飾区のイベントとのコラボもしたいと考えている。

プロジェクトの結果・成果

本プロジェクトの大きな構成は、①絵本に登場させるものの権利の確認及び了承を得ること、②絵本の製作、③絵本の製本、④絵本の配布、⑤絵本と葛飾区のイベントとのコラボである。④と⑤については、次年度以降の目標としているので、ここでは①②③について報告する。

①絵本に登場させるものの権利の確認及び了承を得ること

絵本に登場する公共施設については、葛飾区観光課の方のご協力を得て、すべて使用許可を得ることができた。また登場するお店についても直接許可を取ることに成功した。こち亀の両さんについても、集英社から回答を頂き、使用することができた。一方で主人公として起用する予定であったフィッシャーズは許可が下りず、使用を断念した。その代わりにオリジナルキャラクターを製作し、そのオリジナルキャラクターを主人公とすることにした。

②絵本の製作

まず、メンバーでストーリー原案を出し合い、原作小説を完成させた。
絵本の原画製作は、画家・イラストレーターとして活躍する、つついるなさんに依頼した。つついさんが原画を製作し、私たちがその原画に原作小説の文字入れをするというチームワークで完成まで至ることができた。また絵本製作の中では、原作小説、地図の作成などで、RINGS のプロボノの皆さんにご尽力いただいた。

③絵本の製本

絵本の製本形態は、単行本版と冊子版がある。結果として、単行本版：30 部、冊子版：3000 部の印刷をすることができた。絵本の波及効果を得るには十分な量の成果物ができたと思う。

活動写真





